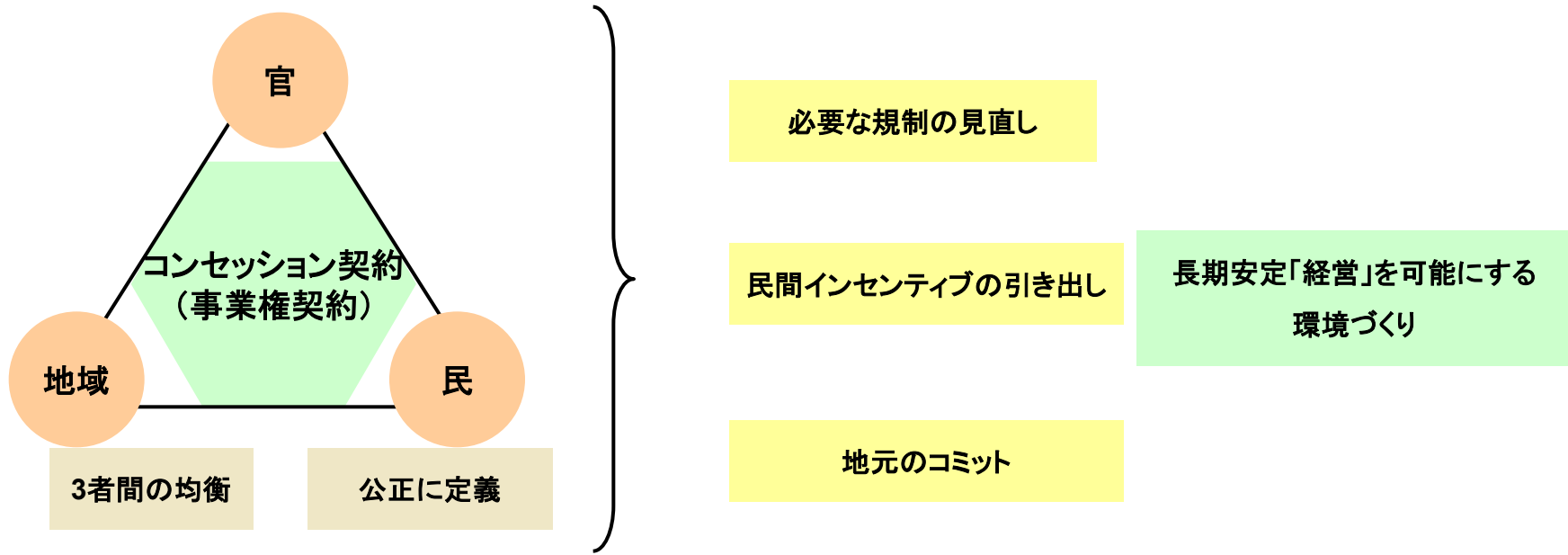


関西全体の航空需要拡大について考えるフォーラム
パネルディスカッション「関西3空港のさらなる活用」

三菱商事株式会社
産業金融事業本部 石田 哲也

2012年12月



- 事業価値を上げるためには、民間にとって魅力のある事業権設定、3者間の創意工夫・協働が鍵。
- 民間事業者がインセンティブを持って「経営」を行うための良好な環境づくり
- カントリーリスク(政策サプライズ)を排除するような投資環境

- 1986年空港法(Airports Act 1986):空港運営を商業的に行う(Commercial undertakings)方針。政府の明確な政策目標:「国民のためにより良い航空サービスを提供し、航空サービスの高度化を通じ自国の国際競争力向上を目指す」
- 英国の空港経営改革
 - 当局の体制改革、「三位一体的アプローチ」導入。
 - 個別空港の会社化・コンセッション導入を通じた空港サービス向上。
 - CC/CAA活用による情報提供、空港セクターの競争性・品質確保
- DfT「The Future of Air Transport (2003年12月) ⇒中央政府として2030年までの航空市場のあり方、戦略等を示し、各空港には「マスタープラン」等を通じ中長期的な対応戦略を策定し行動することを要請。
- CAAのミッション
 - 空港利用者の合理的な利益を守る。
 - 空港運営に効率的、経済的、収益性のあるオペレーションを確保する。
 - 航空需要に対応する必要な投資を促進する。
 - 最低限の規制を課す。

	役割	備考
Department for transport (運輸省)	英国政府としての航空政策の企画・立案。	
Civil Aviation Authority (CAA: 航空規制局)	DfTの定めた航空政策の枠組みに基づき、航空業界の「規制」「監督」並びにDfTに対する政策面での助言。	業界関係者からの払込金(Subscription)で運営され、一般会計からの支出は無い。
Competitive Commission (CC: 競争委員会)	航空に限らず英国の規制業における競争条件の審査	
BAA その他全国55空港	空港サービス提供	1986年空港法により年間売上100万ポンド以上の空港は全て株式会社形態に移行した。
NATS	航空会社に対する感性サービスの提供	2001年に民営化。政府保有は49%

出所:運輸と経済2012年1月号「交通社会資本整備・運営におけるインフラファンドの可能性 石田哲也

● マスタープラン

- 空港ならびに周辺地域の中長期戦略を規定する計画として事業者が作成。
- 今後10年以上の長期計画のため策定(2030年程度を目処とした計画が多い)、概ね5年毎に見直されている。
- 環境・騒音対策等地元への配慮、空港への交通アクセス、将来の需要動向、空港発展計画等空港毎の中長期戦略を策定するが、空港経営に制約を課したり意思決定を定めるものではない。

● 地域協議会

- 空港の利害関係者(周辺地域居住者や空港利用者等)に、定期的に空港の経営状況、顧客サービス、クレーム等の把握、社会面等の活動報告、計画実施案の説明、環境・騒音モニタリング・対策関連情報、空港へのアクセス交通手段、規制関連のアップデート等を説明。
- 本来は、地域や利用者との紛争を防ぐための予防的な制度としてスタートしたが、昨今では、空港の将来構想、近々のイベント(例:ロンドンオリンピック)等、空港の将来事業価値を如何に向上させるかの地域や利用者との協働の場としても活用される。
- マスタープランと共に、国・地域、その他利害関係者とのコミュニケーションの手段として重視されている。

Local Employment

LondonCityAirport

Dec 2009 Statistics

- 55 employers operating on LCY site
- 2,098 people employed on LCY site
- LCA Ltd – largest employer with 403 employees
- 26% live in Newham
- 62% live in Local Area (11 east London boroughs)



Air Quality Management – London City Airport

Stephen Moorcroft

Air Quality Consultants Ltd

London City Airport Consultative Committee 13/04/10

Air Quality Consultants
LondonCityAirport

2012 Olympic & Paralympic Games

4 October 2011 LCACC
Jeff Minnithorpe



- Introduction
- Our Ambition
- Regulatory and Legislative context
- Gatwick Traffic Characteristics and forecasts
- Gatwick Infrastructure
- Gatwick in 2020
- Surface Access
- Social and Economic considerations
- The environment
- Gatwick airport in 2030
- Consultation on the draft master plan

◆ 拡大するアジア富裕・中間層！

- ◆ アジアの購買力は引き続き拡大:2020年に中国の中間層は10億人、インドは6億人に。
- ◆ (人口増)x(一人当たり所得増)

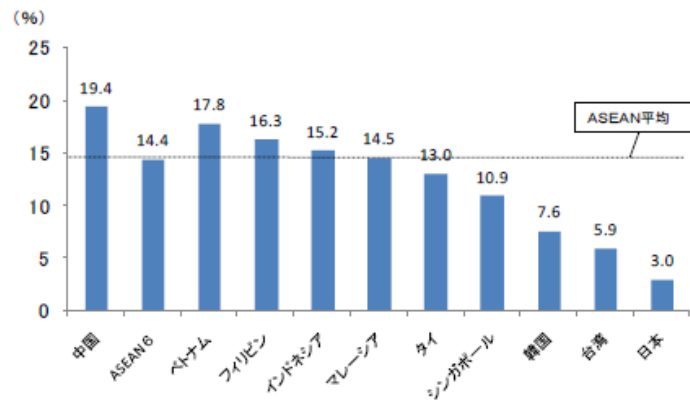
◆ 自国内でなかなか満たされない「安心」・「快適(癒し)」、日本の「高技術」と「おもてなし」への期待。

◆ 価値のあるものには金に糸目をつけずに消費する若年層の影響力が強い新興国の消費市場

- ◆ 日本文化の競争力と親日感。
- ◆ 映画等の文化の旅行への影響: 아이리스(アイリス)、非誠勿擾(狙った恋の落とし方)

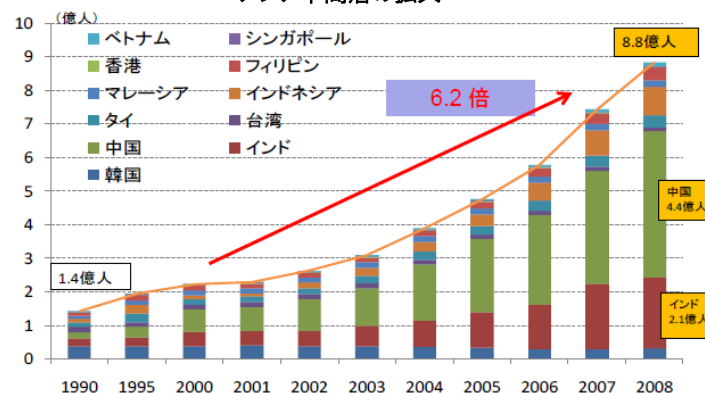
所得が上昇するアジア

アジア主要国・地域のドルベース可処分所得の年平均成長率(2008/2003年)



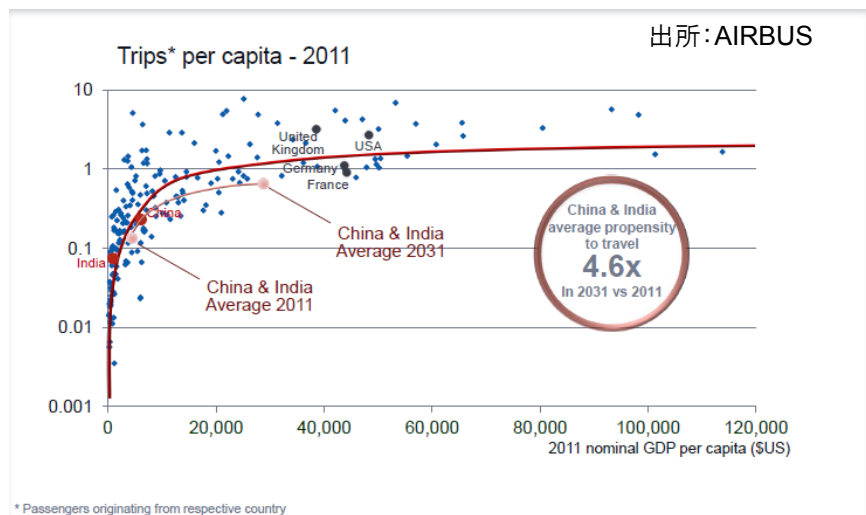
[資料]Euromonitor Internationalから作成。

アジア中間層の拡大



備考: 世帯可処分所得5,001ドル以上35,000ドル以下の家計比率×人口で算出。
資料: Euromonitor International「World Consumer Lifestyle Databook 2009」から野村総合研究所作成。

(出所:通商白書2009)





	利用者数	中心部からの距離	事業権者	備考
Heathrow	6,940万人	22km	BAA	Long-haul
Gatwick	3,340万人	47.5km	GIP	Point to point
Stansted	1,800万人	48km	BAA	LCC
Luton	950万人	56km	Abertis/AENA	LCC/VFR
London City	299万人	11km	GIP	ビジネス客特化

- ◆ 概要
 - ◆ 所在地: The London Borough of Newham ロンドン東部(市中心部から10 kmの空港。ロンドン5空港の中で最も市街地中心部に近い地理的特性。)
 - ◆ 乗降客数: 299万人(2011年): 英国第15位。
 - ◆ 滑走路: 1,508m x 30m(1本)。騒音対策のため5.5度の急角度アプローチが必要。(09/27)
 - ◆ 離発着回数: 7万6千回(2009年)
 - ◆ 運用時間: 平日: 0515-2145、土曜: 0515-1100(午前のみ)、日曜: 1100-2145(午後のみ)
 - ◆ 就航都市数: 33都市
 - ◆ 就航航空会社数: 10社
 - ◆ キャッチメントエリア: Greater London、Kent County、Surrey County
 - ◆ 顧客分類: ビジネス客は77%。
- ◆ 空港の歴史
 - ◆ 1987 ドックランド開発公社によるロンドン東部ドック跡地再開発プロジェクトとして建設会社のMowlemにより開業。
 - ◆ アイルランド人実業家所有を経て2006年11月にGIP等のインフラファンドが取得
- ◆ 特徴
 - ◆ カナリーワーフ(3マイル)・シティ(6マイル)等のビジネス街から至近距離(PPP交通案件として整備されたドックランド新交通がダイレクトに結んでいる)であることに加え、国際大会議場のExCel London(空港に隣接)、2012年ロンドン五輪メイン会場(3マイル)とMICE等での利用にも対応を活かしたビジネスモデルを展開。